

予算決算

歳入歳出決算認定

◎総務部所管

問 義農大賞の課題として、もつと地域で活躍している人を表彰してほしいが、考えは。

答 地域功労賞も設けており、町内で頑張っている方を表彰することを検討していきたい。

問 ふるさと納税の歳入と歳出の差は。また、今後の取組は。

答 令和3年度は若干のマイナスであった。本町としてはネットショッピングのように商品として売りつけるような、国の制度を逸脱したやり方をするつもりはない。

あくまでも、本町を応援してくれる方から寄附をいただき、お礼をお返しするという制度の中で、少しでも町の収入を増やしたいと考えている。

問 空家等活用事業補助金の執行率はゼロであるが、予算編成時の想定件数は。

答 2件を想定していたが、実績として申請件数がゼロであつたため、未執行となつてている。

意見

今年度から愛媛県東京事務所に職員を派遣している。空家等のPRも含んだ派遣と考え、情報共有しながら、前向きに進める。



空家等活用事業で、生活環境の保全を！

問

経常収支比率は、近年80%後半であつたが、令和3年度は79.2%に下がっているが要因は。コロナの関係で、通常行う事業が中止又は、規模を縮小して開催した。加えて、交付税の追加交付があり、例年より多くの交付税が入ったことにより、経常収支比率が下がった。

問 総務課の通常業務の超過勤務時間が増えた要因及び、今後の取組は。

答 企画政策係は、令和2年度より、国からのコロナ交付金の全体的な取りまとめなど事務が増え、時間外が増加している。しかし、業務量も落ちつきつつあるので今後は改善が図れると考えている。

答 職員係は、元々の業務量が大きかつたところに、新たな制度への対応が増えたため、今年度、1人増という体制で臨んでいる。しかし、さらに新たな制度の開始も見込まれており、今後、業務量を見ながら改善を図つてきたい。

答 カーブミラーの点検頻度は。前回は平成26年度に実施した。改めて令和3年度に1246基について業者委託による点検を行つた。

問

以前、カーブミラー設置の方針について尋ねた際、「カーブミラーの新設はできるだけやりたくない」という方針を示された。現在、新設に対する方針は変わったのか。

答 松前町道路反射鏡設置要綱を定めており、その要綱に基づいて、交通安全指導員の意見も聞きながら、新設の判断をしている。基本的に要綱に基づいて、対応していくないと考えている。



必要であれば積極的に新設を！